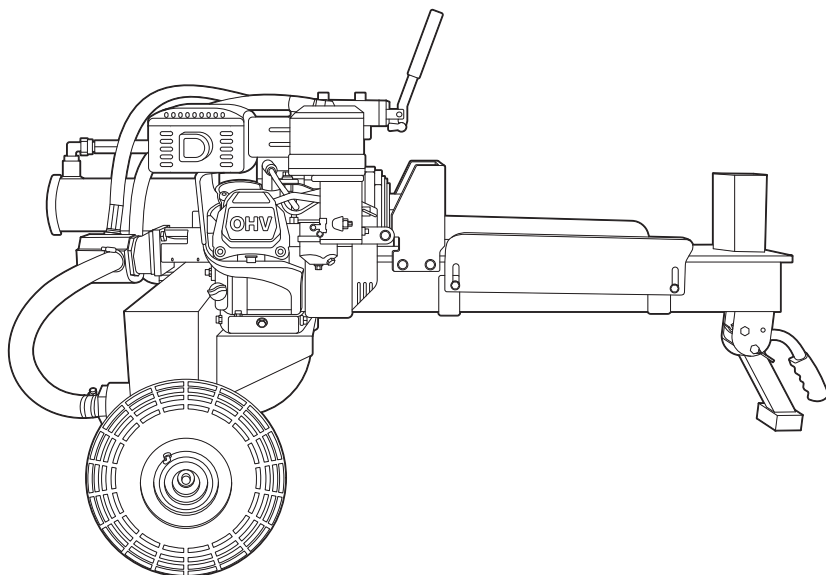


AP161117

15TON エンジン油圧薪割機 取扱説明書



アストロプロダクツ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず、この取扱説明書を最後までお読みになり、正しくご使用ください。
また、この取扱説明書は、いつでも見ることができるよう保管してください。
実際の商品と、取扱説明書内の図では、色や形状が異なる場合がありますので、ご了承ください。


目次

1.	はじめに.....	3
2.	取扱説明書について.....	3
3.	製品安全上のご注意.....	4
	▲危険.....	4
	▲警告.....	6
4.	製品使用上のご注意.....	7
	▲危険.....	7
	▲警告.....	8
	▲注意.....	9
	重要.....	11
5.	製品仕様.....	12
6.	製品特徴.....	12
7.	重要ラベル.....	13
8.	各部名称.....	15
9.	使用前準備.....	16
10.	使用方法.....	26
11.	メンテナンス.....	31
12.	トラブルシューティング.....	35
13.	保管.....	37
14.	廃棄について.....	38
15.	個人情報の取り扱い.....	38
16.	製品保証規定.....	39
17.	お問い合わせ先.....	40
	■カスタマーサービス.....	40
	■販売元.....	40




1.はじめに

- 使用前に、取扱説明書をよく読み、安全に正しく使用してください。
- 安全上の注意や商品仕様などは、予告なく変更される場合があります。そのため、購入された商品と、取扱説明書に記載された内容が、一部異なる場合がありますので、ご了承ください。
- 本製品は長さ50cmまでの丸太を破砕することができるエンジン油圧薪割機です。本来の用途以外で使用しないでください。

2.取扱説明書について

- 当社の許可なく、取扱説明書の内容全部または一部を複製および改修し、無断で転載することは、禁止されています。
- 取扱説明書および本体に貼り付けられた重要ラベルの、安全に関わる項目には「」マークを使用しています。製品を安全に使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防ぐためのものなので、必ず守ってください。
- 取扱説明書をなくしたり、重要ラベルを汚したりせずに、使用者が任意に読むことができるよう、大切に保管してください。
- 危険、警告、注意および重要事項の意に反して、安全義務を怠り、規定外の使用による機器の破損やケガなどに関しては、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

安全に関する表示について

表示	意味
 危険	この表示を無視し、誤った使い方をすると、「使用者が死亡または重傷を負う危険な状態を切迫して生じさせることが想定される」内容のご注意。
 警告	この表示を無視し、誤った使い方をすると、「使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される」内容のご注意。
 注意	この表示を無視し、誤った使い方をすると、「使用者が傷害を負うまたは物的損害を負う危険が想定される」内容のご注意。
重要	この表示内容は、「商品を正しく使用するため」に守らなければならない要点。

注意マーク



注意すること

禁止マーク



してはいけないこと

指示マーク



必ず行うこと

3.製品安全上のご注意

⚠ 危険



注意

- 作業に集中すると、周囲への安全確認が疎かになり、事故を招く恐れがあります。
 - ・ 作業手順や周囲の状況などを、よく確認してください。
- 正しい位置で保持し、無理な姿勢では、使用しないでください。
 - ・ ケガや事故の原因となります。
- 本製品は、樹木、薪割りおよびガソリンならびに本製品の使用に関する十分な知識をお持ちで、作業経験豊富な方を対象に作られています。
 - ・ 使用方法が不明で、作業経験のない方が使用すると、ケガや事故の原因となります。
- 本製品は長さ50cmまでの丸太を破碎することができるエンジン油圧薪割機です。
 - ・ 本来の用途以外で使用すると、ケガや事故の原因となります。



禁止

- 製品に貼られたラベルを、汚したり、剥がしたりしないでください。
 - ・ 誤った使い方をする恐れがあり、ケガや事故の原因となります。
- 過労と思われるときや飲酒しているとき、薬物を服用しているときに、使用しないでください。
 - ・ 判断力が鈍り、事故の原因となります。
- 子供や妊娠中の方は、絶対に本製品を使用しないでください。
 - ・ ケガや事故の原因となります。
- 周辺温度が40℃以上になる高温な場所や直射日光下では、使用しないでください。
 - ・ 高温による脱水症状や熱中症になる恐れがあります。休憩をこまめに行い、十分な水分補給をしてください。
- 次の作業環境下では、使用しないでください。
 - ・ 火気のそばや急激に温度上昇する場所
 - ・ 揮発性の高い溶剤などがある場所
 - ・ 通気が悪く、換気のできない場所
 - ・ 暴風雨、降雪、強風、雷などの悪天候時
 - ・ 水がかかる恐れがある場所、多湿、水中や海中
 - ・ 足元が滑りやすく、不安定な場所
 - ・ 急傾斜など、転倒の恐れがある場所

3.製品安全上のご注意

⚠ 危険



禁止

- 使用者以外、使用場所や保管場所に近づけないでください。
 - ・ 特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。
- 以下の服装は、周囲に引っ掛かるまたは巻き込まれるなど、ケガや事故の原因となりますので、そのままの状態や着用することはおやめください。
 - ・ 長髪を束ねずに、そのままの状態にしている。
 - ・ ネックレスなどの装飾具を着用している。
 - ・ サイズが極端に大きい服装、だぶだぶな衣類を着用している。



指示

- 必ず取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してから、使用してください。
 - ・ 使用方法が少しでも不明な場合は、使用せずにお買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
 - ・ 誤った使用方法により生じた、商品破損、人体への損傷、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証および責務を負いかねますので、ご了承ください。
- 安全に正しく使用するため、警告事項を理解し、厳守してください。
 - ・ 警告事項を無視して使用すると、死亡や重傷、傷害など、重大な事故の原因となります。
- 本製品を他人に貸すときは、必ず取扱説明書も一緒に渡してください。
 - ・ 誤った使い方をする恐れがあり、ケガや事故の原因となります。
- 安全に正しく使用するため、使用環境に合わせて、以下の保護具を着用してください。
 - ・ 安全手袋、耳栓やイヤーマフ、保護メガネ、防塵マスク、安全帽、安全靴、作業ツナギや長袖、長ズボン
- 本製品は、大切に取り扱いってください。
 - ・ 落下などにより、強い衝撃が加わった場合は、必ず各部に異常がないか点検してください。
- 使用前や定期的に、各部に異常、不具合、損傷、破損がないか点検してください。
 - ・ 異常や不具合、損傷、破損がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。

3.製品安全上のご注意

⚠警告



注意

- 製品改良のため、主要機能および形状などは、予告なく変更する場合があります。
 - ・購入製品と改良品は、性能などが異なる場合がありますので、予めご了承ください。
- 高温、多湿、結露する場所、塵やホコリがあり清掃されていない場所に保管すると、本体故障の原因となります。
 - ・常温で清潔な場所に保管してください。



禁止

- 損傷がある場合は、保管しないでください。
 - ・損傷がある製品を誤って使用してしまう恐れがあり、ケガや事故の原因となります。



指示

- 使用しないときは、施錠のできる屋内に保管してください。
 - ・思わぬ事故の原因となります。特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

4.製品使用上のご注意

⚠ 危険



注意

- ガソリンは引火しやすく、また、気化したガソリンは爆発し、重大な事故の原因となります。
 - ・ 給油する際は、必ずエンジンを停止し、通気の良い場所で行ってください。



指示

- 本製品は、通気がよく、換気ができる屋外で使用してください。
 - ・ ガレージ、倉庫などの屋内やテントなど、通気が悪く、換気のできない場所で使用すると、排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒により死亡する恐れがあります。
- 過労による事故防止のため、長時間連続の作業をせず、途中休憩をとってください。
- 燃料の給油は、安全確認を怠ると、火災や爆発の恐れがあります。次の内容は、必ず守ってください。
 - ・ エンジン停止
 - ・ エンジン、マフラー、油圧シリンダー、ポンプ、ホースが冷めているか確認
 - ・ タバコを吸わない
 - ・ 火気や火気を発生させる物の側で給油しない
 - ・ 通気の良い場所で給油する
 - ・ 静電気を除去してから給油する
- 給油中に、燃料がこぼれた場合は、ただちに拭き取り、完全に乾燥するまでは、絶対に給油しないでください。
 - ・ こぼれた燃料は、引火する恐れがあり、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。
- 燃料漏れの原因となるので、燃料キャップは確実に締め付けてください。
 - ・ 燃料漏れは、事故の原因となります。
- 給油後は、燃料の漏れがないことを確認し、燃料が漏れている場合は、絶対に使用しないでください。
 - ・ 漏れた燃料は、引火する恐れがあり、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。
- 給油後、エンジンを始動するときは、給油した場所より、3m以上離れた場所で、エンジンを始動してください。
 - ・ 燃料がこぼれている恐れがあり、こぼれた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

4.製品使用上のご注意

⚠警告



禁止

- 複数人で本製品を使用して作業をしないでください。
 - ・ 運転中は騒音が発生し、周囲の状況が分かりにくくなります。複数人で作業を行うと、思わぬ事故の原因となります。また、作業者以外の人を本製品の半径5m以内に近づけないよう注意してください。
- 運転中はプッシュプレート、ウェッジ、ビームに手や足、衣服を近づけないでください。
 - ・ 巻き込まれる恐れがあり、ケガや事故の原因となります。
- プッシュプレートが動いている時は、丸太(薪)を置いたりどかしたりしないでください。また、手や足、衣服を近づけないでください。
 - ・ 巻き込まれる恐れがあり、ケガや事故の原因となります。
 - ・ 破砕時に木片が飛び散る場合がありますので注意してください。



指示

- 確実に操作するために、各部の操作に慣れ、素早く運転停止する方法を、習得してください。
 - ・ 不慣れな状態での操作は、重大な事故や重傷を負う原因となります。
- エンジン始動前に必ず次の点を確認してください。
 - ・ 傾斜地、軟弱地など不安定な場所ではないか
 - ・ 本製品の周囲に人や動物がいないこと
 - ・ エンジンの周囲に可燃物がないこと
 - ・ リコイルスターターのロープを最大に引っ張っても、さらにスペースがあること
- 運転中は建物およびその他の設備から1m以上本製品を離してください。また、本製品の周りに危険物や燃えやすいものを近づけないでください。
 - ・ 本製品から出る排気ガスは高温です。重大な事故や重傷を負う原因となります。
- 本製品を離れるときは、必ずエンジンを停止してください。また、点検、清掃、オイル交換などの作業をするときは、エンジンを停止し、誤ってエンジンが始動しないように、スパークプラグからプラグキャップを外してください。
 - ・ 思わぬ事故やケガ、重傷を負う原因となります。
- 部品の交換は純正部品のみ使用し、純正以外の部品は使用しないでください。
 - ・ 本来の性能を発揮できないだけでなく、作動不良、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。

4.製品使用上のご注意

⚠注意



注意

- 燃料の給油中、燃料タンク内に、異物が混入しないよう十分注意してください。
 - ・エンジン始動困難、エンジン不調、本体故障の原因となります。
- エンジンオイル、油圧作動油の給油や交換時に、異物が混入しないよう十分注意してください。
 - ・異物の混入は、本製品の作動不良の原因となります。



禁止

- 本製品に人や動物、ものをのせて動かさないでください。
 - ・ケガや事故の原因となります。
- 運転中に、プラグコード、プラグキャップに触れないでください。
 - ・感電の恐れがあります。
- 運転中、本製品を傾斜させたり、移動させたりしないでください。
 - ・移動による振動、転倒、燃料漏れによる本製品の故障、思わぬ事故が発生する恐れがあります。
- 釘や金属が打ち込まれた木や一度に2本以上の丸太(薪)は破碎しないでください。
 - ・ケガや事故の原因になるだけでなく、無理に作業を続けると、本製品を故障、破損させる恐れがあります。
- エンジンオイルは使用するたびに汚れたり燃焼したりします。
 - ・定期的に点検、給油、交換するようにしてください。



指示

- 必ず、指定のエンジンオイル、油圧作動油を使用してください。
 - ・他のエンジンオイル、油圧作動油の使用は故障の原因となります。
- エンジンオイル、油圧作動油は、規定量入れてください。
 - ・規定量以上や規定量以下はエンジンの不調や故障の原因となります。
- エンジンオイル、油圧作動油が本製品に付着した場合は速やかに拭き取ってください。

4.製品使用上のご注意

⚠注意



指示

- 必ず、指定の燃料を使用し、他の燃料を使用しないでください。
 - ・他の燃料の使用は、エンジン不調や故障の原因となります。
- エンジンオイル、油圧作動油、燃料が、誤って口や目に入った場合は、ただちに次の処置を施してください。
 - ・ただちにきれいな水で、少なくとも15分間はよく洗い流し、医師の診断を受けてください。そのまま放置すると失明する恐れがあります。
- エンジンオイル、油圧作動油、燃料が、皮膚に付着してしまった場合は、すみやかに次の処置を施してください。
 - ・石けんと水で、よく洗い流してください。
- 燃料タンク内に、燃料を入れたまま運搬しないでください。
 - ・燃料がこぼれる恐れがあります。
- エンジン始動は、操作手順に従ってください。
 - ・始動手順に従わないと、エンジン始動困難、事故やケガを負う原因となります。
- 丸太(薪)は木の繊維方向に沿って置いてください。
- 切り株面は出来るだけ直角に切り、プッシュプレートやウェッジに当たる面が斜めにならないようにしてください。
- 丸太(薪)が割れず、シリンダーが途中で停止し、3秒以上経過した場合は、すみやかにプッシュプレートに戻してください。
 - ・無理に作業を続けると、油圧作動油の温度が上昇し、本製品を故障、破損させる恐れがあります。
- 丸太(薪)が割れない場合は、破砕面をかえたり節をすらしたりしてください。
 - ・破砕面をかえたり、節をすらしたりしても割れない場合は本製品の能力を超えています。
- エンジン停止直後は、エンジンやマフラー、油圧シリンダー、ポンプ、ホースなどが大変高温になっています。冷めるまでは、人が触れない場所に置いてください。また、点検、保管するときは、完全に冷めてから行ってください。
 - ・高温状態で点検や保管は、事故やケガを負う原因となります。

4.製品使用上のご注意

⚠注意



指示

- 油圧作動油は、必ずエンジン停止、シリンダーが縮み切った無負荷状態で給油してください。
 - ・エンジン始動中、シリンダーが伸びてる状態での給油は、適正量のオイルが給油できないだけでなく、ケガや事故の原因となります。
- 紙や木材など、燃えやすい物があるところに、保管しないでください。
 - ・エンジンやマフラーの熱で、着火する恐れがあり、火災の原因となります。
- 1か月以上の長期間使用しないときは、必ず燃料を抜いてください。
 - ・燃料の劣化により、エンジン始動不良や故障の原因となります。
- 車への積み下ろしは必ずラダー（歩み板）を使用し、ゆっくり行ってください。
 - ・車で移動する際は燃料を抜いて、本製品を確実に固定してください。

重要



注意

- 本製品には、エンジン保護のため、オイルアラート機能が搭載されています。
 - ・本製品が傾いていたり、エンジンオイルが不足していたりすると、リコイルスターターを引いてもエンジンはかかりません。
- 本製品はエンジンオイル、油圧作動油、燃料が入っていない状態で出荷されています。



禁止

- 車両と連結し牽引しないでください。



指示

- 本製品は、運転中振動が発生します。必ず輪止めをし、動かないようにしてください。

5.製品仕様

商品型番	AP161117
商品コード	2016000011173
本体サイズ	L1520×W770×H800mm
重量	110kg
破碎力	15000kg (15t)
エンジン	Loncin製 6.5HP 空冷4ストローク
排気量	196cm ³ (196cc)
始動方式	リコイル式
燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	3.6L
推奨エンジンオイル粘度	SAE 10W-30
エンジンオイル量	0.6L
指定油圧作動油粘度	ISO VG32
油圧作動油容量	9L
最大破碎可能丸太長	50cm
サイクルタイム	6秒

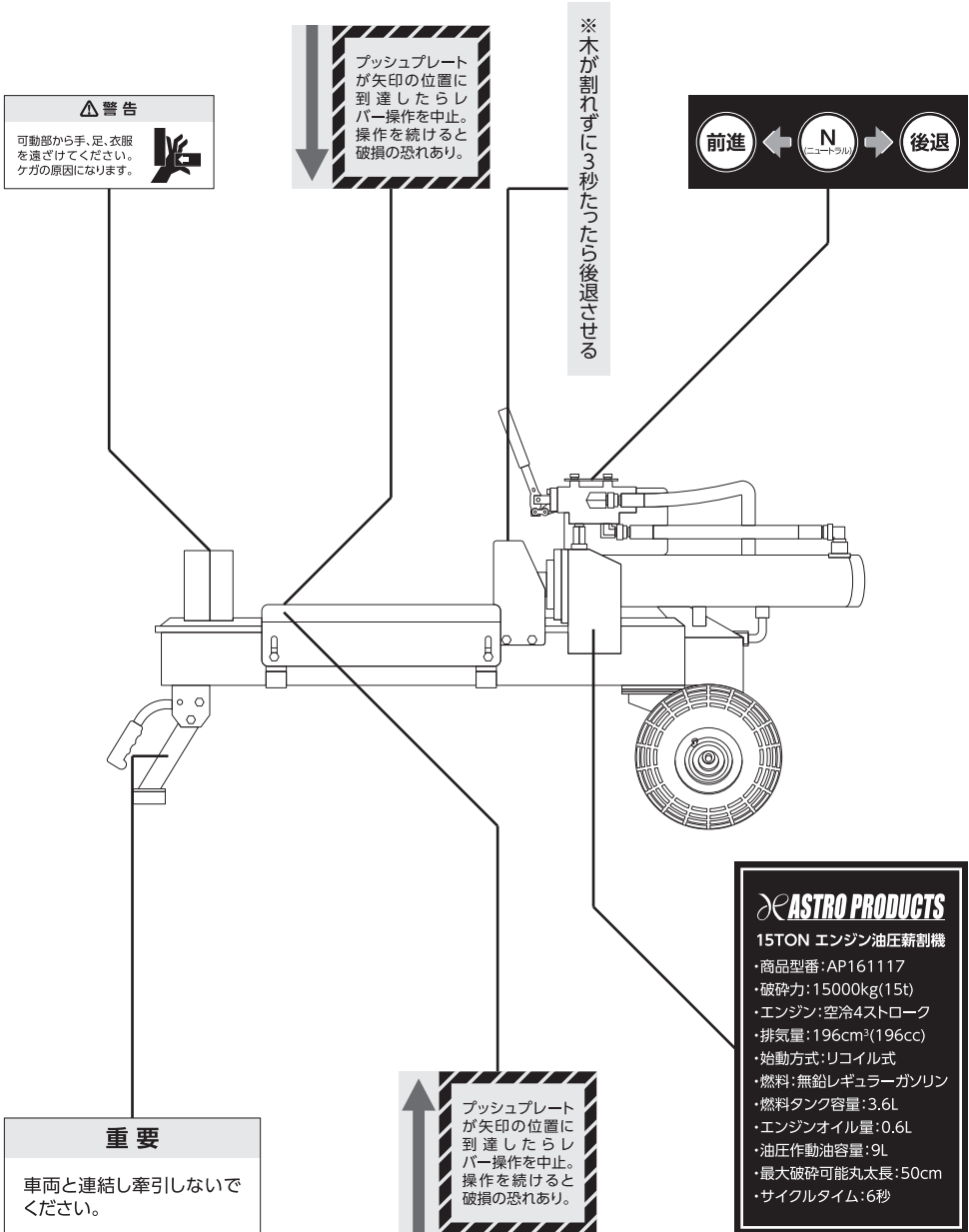
- 商品改良のため、主要機能および形状などは、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 6か月保証対象製品（[製品保証] 項目参照）

6.製品特徴

- ・ 15t(15000kg)の力でラクラク薪割りができるエンジン+油圧式の薪割機です。
- ・ 硬い広葉樹や斧や楔では割りにくい節も簡単に割ることができます。
- ・ 導入しやすい5～7tクラスの機種に比べ、大パワーでストレスなく作業が出来ます。
- ・ 基本的な操作はレバー1本で、エンジン回転数で作業スピードを調節できるので、はじめての方も落ち着いて作業が可能です。
- ・ 手作業での薪割りに比べ、力や打撃に頼らず作業できるので、効率的で安全です。
- ・ タイヤが付いているので、倉庫から薪棚までの移動なども苦になりません。

7.重要ラベル

- 安全な取り扱いのために、本製品に貼られている、重要ラベルを全て読み、指示に従ってください。
ラベルを、汚したり、剥がしたりせず、常にきれいにしてください。



ASTRO PRODUCTS

15TON エンジン油圧薪割機

- ・商品型番: AP161117
- ・破砕力: 15000kg(15t)
- ・エンジン: 空冷4ストローク
- ・排気量: 196cm³(196cc)
- ・始動方式: リコイル式
- ・燃料: 無鉛レギュラーガソリン
- ・燃料タンク容量: 3.6L
- ・エンジンオイル量: 0.6L
- ・油圧作動油容量: 9L
- ・最大破砕可能丸太長: 50cm
- ・サイクルタイム: 6秒




7.重要ラベル

●安全な取り扱いのために、本製品に貼られている、重要ラベルを全て読み、指示に従ってください。
ラベルを、汚したり、剥がしたりせず、常にきれいにしてください。

エアクリナーメンテナンス

使用前にエアクリナーエレメントの点検または掃除を行ってください。掃除方法については取扱説明書をご覧ください。

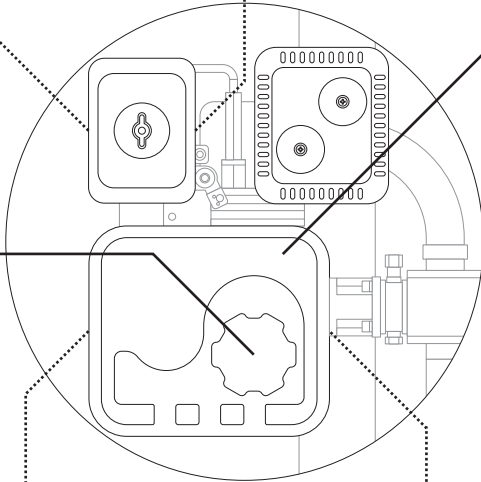
	警告 
	運転中は感電の恐れあり。 プラグコード、プラグキャップ に手を触れるな。

	警告 	
	やけどの恐れあり。 マフラーに手を触れるな。	

FUEL






無鉛レギュラーガソリン




線種

————— 指している面

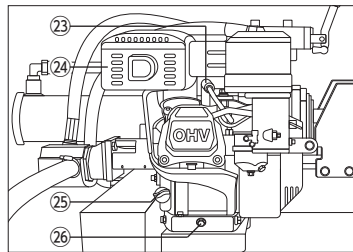
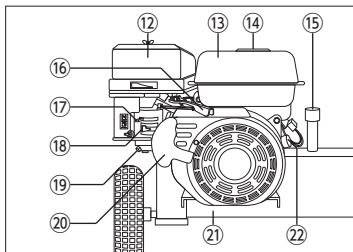
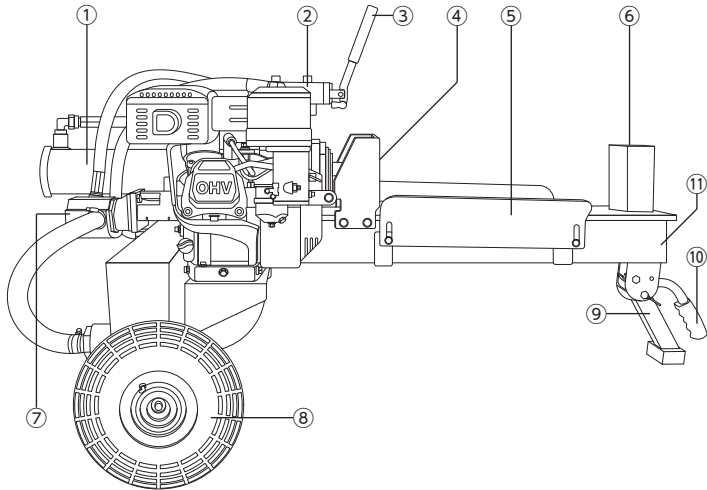
..... 側面

危険	
	●燃料の給油はエンジンを停止してから行ってください。
	●給油中に燃料がこぼれてしまった場合は、燃料を拭きとり、完全に乾かしてからエンジンを起動させてください。
	●燃料のガソリンは、引火しやすく、酸化した燃料は爆発性がありますので、取り扱いには十分注意してください。
	●火災の恐れがあるので、給油中はタバコ、火気厳禁です。
	●燃料は規定量以上は入れないこと。
	●汚がー、燃料が目に入ったり、皮膚に付着したりした場合は、速やかに清潔な水で洗い流し、ただちに医師の診断を受けてください。
	●可燃物の近くでは使用しないでください。
	●取扱説明書は、いつでも見ることができるよう保管してください。
	●排気ガスには、有害な成分が含まれていますので、使用中は必ず換気をしてください。
	●室内では絶対に使用しないでください。
	●腐気の高い場所では使用しないでください。
	●人体、建物、設備などに排気を向けないでください。

注意	工場出荷時にはエンジンオイルが給油されていません。初回使用時には必ず4サイクルエンジンオイルを規定量給油してください。
	推奨エンジンオイル粘度 SAE 10W-30 エンジンオイル量 0.6L

8.各部名称

各部名称

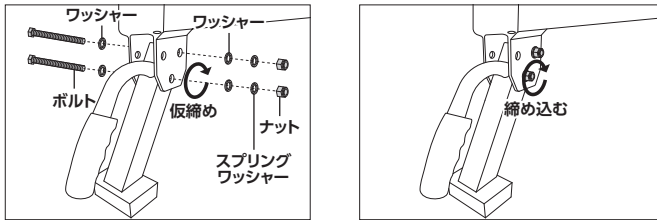


①	油圧シリンダー	⑭	燃料キャップ
②	油圧コントロールバルブ	⑮	油圧作動油キャップ
③	操作レバー	⑯	スロットルレバー
④	プッシュプレート	⑰	チョークレバー
⑤	ガイドプレート	⑱	燃料コック
⑥	ウェッジ	⑲	燃料ドレンボルト
⑦	油圧ポンプ	⑳	リコイルスターターハンドル
⑧	タイヤ	㉑	油圧作動油タンク
⑨	支持脚	㉒	エンジンスイッチ
⑩	リフティングハンドル	㉓	プラグキャップ
⑪	ビーム	㉔	マフラー
⑫	エアクリーナーカバー	㉕	エンジンオイルキャップ
⑬	燃料タンク	㉖	エンジンオイルドレンボルト

9.使用前準備

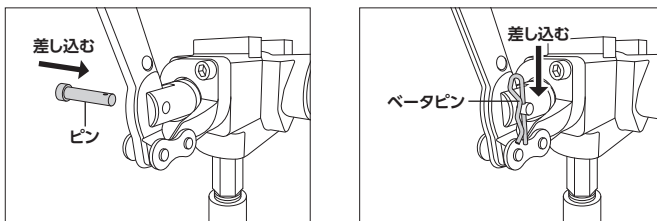
支持脚の取り付け

- ・ 本体を支える必要があるため、作業するときは、必ず2人以上で行ってください。



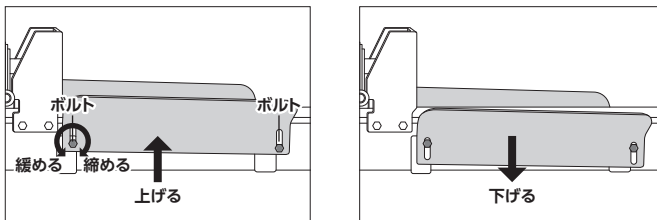
- ① 本体と支持脚を支えながらボルト、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットを使用し仮締めします。
- ② 本体がぐらつかないことを確認し、ボルトとナットを本締めします。

操作レバーの取り付け



- ① 操作レバーを支えながらピンを差し込みます。
- ② ピンの穴にベータピンを差し込み固定します。

ガイドプレートの高さ調節



- ・ ガイドプレートの左右に付いたボルトを緩めることでガイドプレートの高さを調節することができます。
※ 切断する丸太(薪)のサイズに合わせて調節してください。
※ 高さ調節後はしっかりとボルトを締め込んでください。

9.使用前準備

⚠ 危険



指示

- 必ず取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してから、使用してください。
 - ・使用方法が少しでも不明な場合は、使用せずにお買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
 - ・誤った使用方法により生じた、商品破損、人体への損傷、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証および責務を負いかねますので、ご了承ください。
- 使用前や定期的に、各部に異常、不具合、損傷、破損がないか点検してください。
 - ・異常や不具合、損傷、破損がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。

⚠ 警告



指示

- 確実に操作するために、各部の操作に慣れ、素早く運転停止する方法を、習得してください。
 - ・不慣れな状態での操作は、重大な事故や重傷を負う原因となります。

作業ポジション

⚠ 危険



禁止

- 使用者以外、使用場所や保管場所に近づけないでください。
 - ・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

⚠ 警告



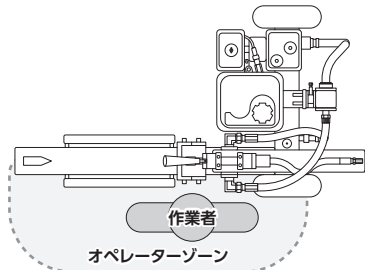
禁止

- 複数人で本製品を使用して作業をしないでください。
 - ・運転中は騒音が発生し、周囲の状況が分かりにくくなります。複数人で作業を行うと、思わぬ事故の原因となります。また、作業員以外の人を本製品の半径5m以内に近づけないよう注意してください。

9.使用前準備

作業ポジション

- 作業者は下記の図の位置に立ち、作業を行ってください。



使用前点検一覧

- 本製品を使用する前に必ず使用前点検を行ってください。

1	重要ラベル貼付状態の点検
2	エンジンオイル、油圧作動油、燃料漏れの点検
3	エンジンオイルの点検
4	油圧作動油の点検
5	燃料の点検
6	各部品、ボルト、ナット、ピン取付状態の点検
7	プッシュプレート、ウェッジ、ビームのゆがみ、損傷、破損の点検
8	操作レバーの作動具合の点検
9	各可動部のグリス塗布状態の点検

エンジンオイルの点検

⚠注意



注意

- エンジンオイルは使用するたびに汚れたり燃焼したりします。
 - ・ 定期的に点検、給油、交換するようにしてください。



指示

- 必ず、指定のエンジンオイルを使用してください。
 - ・ 他のエンジンオイルの使用は故障の原因となります。
- エンジンオイルは、規定量入れてください。
 - ・ 規定量以上や規定量以下はエンジンの不調や故障の原因となります。
- エンジンオイルが本製品に付着した場合は速やかに拭き取ってください。

9.使用前準備

エンジンオイルの点検

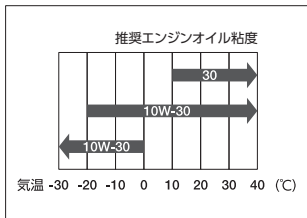
重要



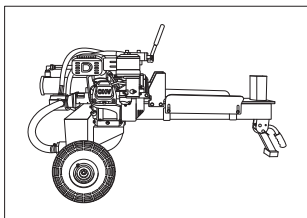
注意

- 本製品には、エンジン保護のため、オイルアラート機能が搭載されています。
 - ・本製品が傾いていたり、エンジンオイルが不足していたりすると、リコイルスターターを引いてもエンジンはかかりません。
- 本製品はエンジンオイルが入っていない状態で出荷されています。

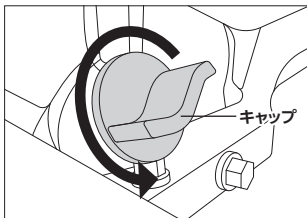
推奨エンジンオイル粘度	SAE 10W-30
エンジンオイル量	0.6L
交換時期	初回20時間/それ以降は1年または100時間ごと



※気温に合った粘度のエンジンオイルを使用してください。
大きく外れたエンジンオイルを使用すると、本体故障の原因になります。



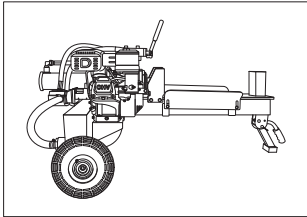
①本製品が水平で、エンジンが停止しており、冷めているか確認してください。



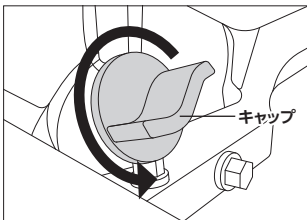
- ②エンジンオイルキャップを外し、オイルが規定量入っているか、汚れていないか確認してください。
- ③少ない場合は給油し、汚れている場合は交換してください。
※交換方法はP20を参照してください。

9.使用前準備

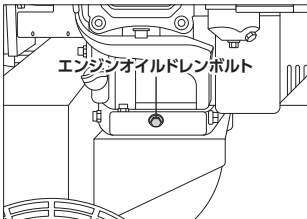
エンジンオイルの交換方法



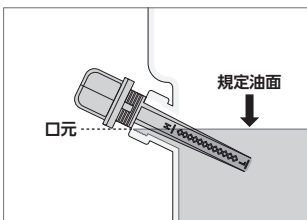
①本製品が水平で、エンジンが停止しており、冷めているか確認してください。



②エンジンオイルキャップを外します。



③エンジンオイルドレンボルト付近にオイル受を用意し、エンジンオイルドレンボルトを外してください。
汚れたオイルを出し切り、エンジンオイルドレンボルトを確実に締め付けてください。






④給油口からオイルを規定油面までいれ、オイルキャップを確実に取り付けてください。

※廃油はお住まいの各自治体のごみ廃棄方法に従って廃棄してください。

9.使用前準備

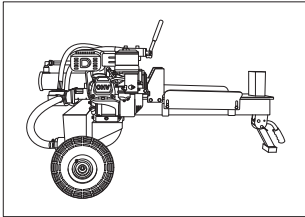
油圧作動油の点検

⚠注意	
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ■ エンジンオイルは使用するたびに汚れたり燃焼したりします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に点検、給油、交換するようにしてください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ■ 必ず、指定の油圧作動油を使用してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の油圧作動油の使用は故障の原因となります。 ■ 油圧作動油は、規定量入れてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 規定量以上や規定量以下は不調や故障の原因となります。 ■ 油圧作動油が本製品に付着した場合は速やかに拭き取ってください。 ■ エンジン停止直後は、エンジンやマフラー、油圧シリンダー、ポンプ、ホースなどが大変高温になっています。冷めるまでは、人が触れない場所に置いてください。また、点検、保管するときは、完全に冷めてから行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高温状態で点検や保管は、事故やケガの原因となります。 ■ 油圧作動油は、必ずエンジン停止、シリンダーが縮み切った無負荷状態で給油してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ エンジン始動中、シリンダーが伸びてる状態での給油は、適正量のオイルが給油できないだけでなく、ケガや事故の原因となります。
重要	
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本製品は油圧作動油が入っていない状態で出荷されています。

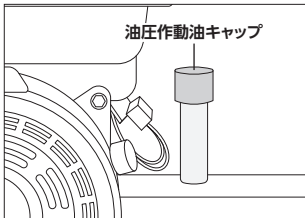
指定油圧作動油粘度	ISO VG32
油圧作動油量	9L
交換時期	1年または100時間ごと

9.使用前準備

油圧作動油の点検

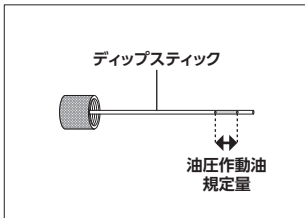


①本製品が水平で、エンジンが停止しており、冷めているか確認してください。



②油圧作動油キャップを緩め、外します。

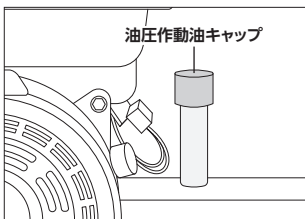
③ディップスティックに付着している作動油をウエスなどで拭き取ります。



④油圧作動油キャップを給油口に置きます。

⑤油圧作動油キャップをとり、油圧作動油がディップスティックの規定量の範囲に付着しているか確認してください。

⑥少ない場合は給油し、汚れている場合は交換してください。

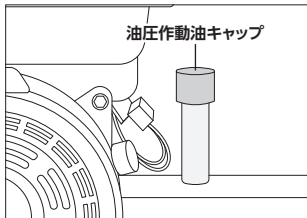
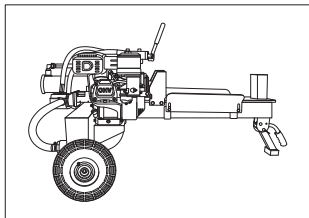


⑦油圧作動油キャップを確実に締めこんでください。

※廃油はお住まいの各自治体のごみ廃棄方法に従って廃棄してください。

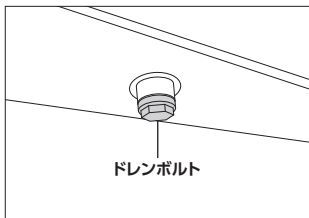
9.使用前準備

油圧作動油の交換方法



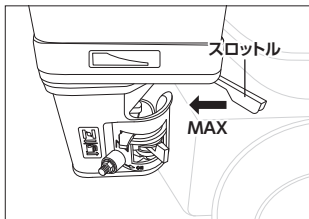
①本製品が水平で、エンジンが停止しており、冷めているか確認してください。

②油圧作動油キャップを緩め、外します。



③ドレンボルトの下にオイル受を用意し、ドレンボルトを外してください。
作動油を出し切り、ドレンボルトを確実に締めてください。
※作動油を十分に入れられるオイル受を用意してください。

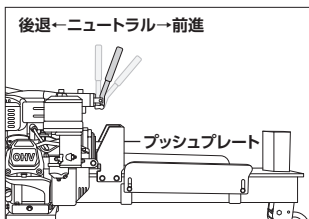
④給油口からオイルを9L入れ、作動油キャップを確実に締めこんでください。



⑤油圧作動油のエア抜きをします。

⑥エンジン始動方法に従ってエンジンを始動してください。

⑦2～3分暖機運転を行いスロットルをMAXにします。



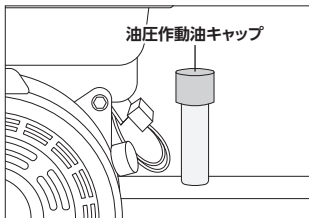
⑧コントロールレバーを操作し、プッシュプレートを最大まで前進、後退させてください。

プッシュプレートがスムーズに動くまで前進、後退を繰り返してください。概ね2～3往復。

※コントロールレバー操作方法に従ってください。

⑨プッシュプレートがスムーズに動くようになったら、エンジン停止方法に従い、エンジンを停止します。

⑩油圧作動油の点検方法に従い、油圧作動油の量、状態を確認し、規定量以下の場合は給油してください。



⑪油圧作動油キャップを確実に締めこんでください。

9.使用前準備

燃料の点検、給油

⚠ 危険



注意

- ガソリンは引火しやすく、また、気化したガソリンは爆発し、重大な事故の原因となります。
 - ・ 給油する際は、必ずエンジンを停止し、通気の良い場所で行ってください。



指示

- 燃料の給油は、安全確認を怠ると、火災や爆発の危険があります。次の内容は、必ず守ってください。
 - ・ エンジン停止
 - ・ エンジン、マフラー、油圧シリンダー、ポンプ、ホースが冷めているか確認
 - ・ タバコを吸わない
 - ・ 火気や火気を発生させる物の側で給油しない
 - ・ 通気の良い場所で給油する
 - ・ 静電気を除去してから給油する
- 給油中に、燃料がこぼれた場合は、ただちに拭き取り、完全に乾燥するまでは、絶対に給油しないでください。
 - ・ こぼれた燃料は、引火する危険があり、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。
- 燃料漏れの原因となるので、燃料キャップは確実に締め付けてください。
 - ・ 燃料漏れは、事故の原因となります。
- 給油後は、燃料の漏れがないことを確認し、燃料が漏れている場合は、絶対に使用しないでください。
 - ・ 漏れた燃料は、引火する危険があり、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。
- 給油後、エンジンを始動するときは、給油した場所より、3m以上離れた場所で、エンジンを始動してください。
 - ・ 燃料がこぼれている恐れがあり、こぼれた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

⚠ 注意



指示

- 必ず、指定の燃料を使用し、他の燃料を使用しないでください。
 - ・ 他の燃料の使用は、エンジン不調や故障の原因となります。

9.使用前準備

燃料の点検、給油

⚠注意



指示

- 燃料タンク内に、燃料を入れたまま運搬しないでください。
 - ・燃料がこぼれる恐れがあります。
- エンジン停止直後は、エンジンやマフラー、油圧シリンダー、ポンプ、ホースなどが大変高温になっています。冷めるまでは、人が触れない場所に置いてください。また、点検、保管するときは、完全に冷めてから行ってください。
 - ・高温状態で点検や保管は、事故やケガを負う原因となります。

重要



注意

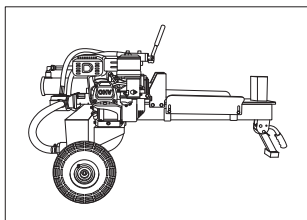
- 本製品は燃料が入っていない状態で出荷されています。



指示

- 給油する際は必ず燃料ストレーナーを通してください。
- ガソリンは自然劣化します。1か月に1回、定期的に新しいガソリンと入れ替えてください。

燃料	無鉛レギュラーガソリン
タンク容量	3.6L



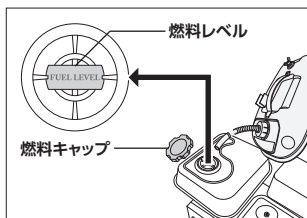
①本製品が水平で、エンジンが停止しており、冷めているか確認してください。

②燃料キャップを外します。

③燃料があるか確認し、少ない場合は給油してください。

④給油する場合、燃料レベルを超えないように給油します。レベル以上に給油すると、燃料が漏れる場合があります。

⑤燃料キャップを確実に締め付けてください。



10.使用方法

エンジン始動方法

⚠ 危険



指示

- 本製品は、通気がよく、換気ができる屋外で使用してください。
 - ・ ガレージ、倉庫などの屋内やテントなど、通気が悪く、換気のできない場所で使用すると、排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒により死亡する恐れがあります。

⚠ 警告



指示

- 確実に操作するために、各部の操作に慣れ、素早く運転停止する方法を、習得してください。
 - ・ 慣れない状態での操作は、重大な事故や、重傷を負う原因となります。
- エンジン始動前に必ず次の点を確認してください。
 - ・ 傾斜地、軟弱地など不安定な場所ではないか
 - ・ 本製品の周囲に人や動物がいないこと
 - ・ エンジンの周囲に可燃物がないこと
 - ・ リコイルスターターのロープを最大に引っ張っても、さらにスペースがあること
- 運転中は建物およびその他の設備から1m以上本製品を離してください。また、本製品の周りに危険物や燃えやすいものを近づけないでください。
 - ・ 本製品から出る排気ガスは高温です。重大な事故や、重傷を負う原因となります。
- 本製品を離れるときは、必ずエンジンを停止してください。また、点検、清掃、オイル交換などの作業をするときは、エンジンを停止し、誤ってエンジンが始動しないように、スパークプラグからプラグキャップを外してください。
 - ・ 思わぬ事故やケガ、重傷を負う原因となります。

⚠ 注意

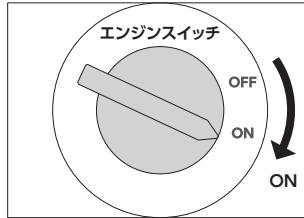
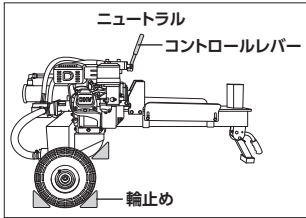


指示

- エンジン始動は、操作手順に従ってください。
 - ・ 始動手順に従わないと、エンジン始動困難、事故やケガを負う原因となります。
- エンジン停止直後は、エンジンやマフラー、油圧シリンダー、ポンプ、ホースなどが大変高温になっています。冷めるまでは、人が触れない場所に置いてください。また、点検、保管するときは、完全に冷めてから行ってください。
 - ・ 高温状態で点検や保管は、事故やケガを負う原因となります。

10.使用方法

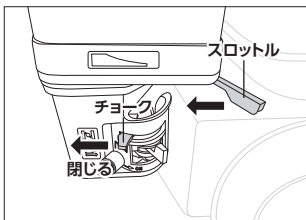
エンジン始動方法



①本体が水平で、タイヤに輪止めがされており、コントロールレバーがニュートラルか確認し、エンジンスイッチをONにします。

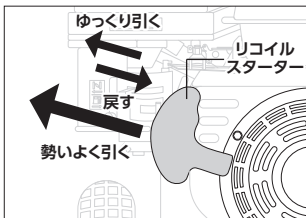


②燃料コックを開けます。
(→開け方向)

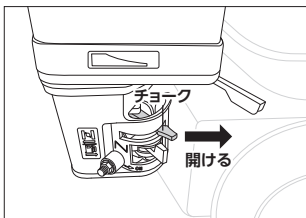


③チョークを閉じます。
(←閉じ方向)

④スロットルを中間地点にします。



⑤後方に注意し、リコイルスターターを重くなる位置までゆっくり引き、一度戻し、勢いよく引きます。
エンジンが始動したら、すみやかにリコイルスターターを戻してください。



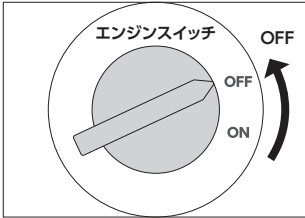
⑥始動後、エンジン回転が安定したら、ゆっくりチョークを開けてください。

10.使用方法

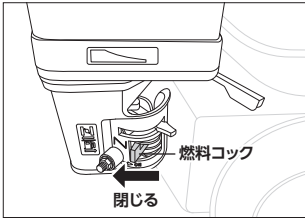
エンジン停止方法



① プッシュプレートが最後まで後退しており、コントロールレバーがニュートラルか確認し、スロットルを低速ににして、1～2分運転します。



② エンジンスイッチをOFFにします。






③ 燃料コックを閉じます。
(←閉じ方向)

※ エンジンを急停止するとエンジン各部の寿命を縮める恐れがあります。通常はスロットルを低速にし回転数を落として、しばらくおいてからエンジンを停止するようにしてください

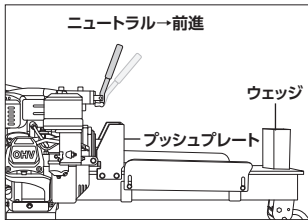
10.使用方法

コントロールレバー操作方法

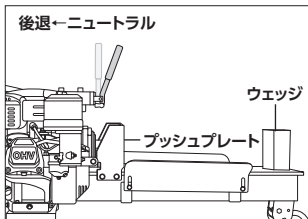
⚠警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">■ 運転中はプッシュプレート、ウェッジ、ビームに手や足、衣服を近づけないでください。<ul style="list-style-type: none">・ 巻き込まれる恐れがあり、ケガや事故の原因となります。■ プッシュプレートが動いている時は、丸太(薪)を置いたりどかしたりしないでください。また、手や足、衣服を近づけないでください。<ul style="list-style-type: none">・ 巻き込まれる恐れがあり、ケガや事故の原因となります。・ 破砕時に木片が飛び散る場合がありますので注意してください。
⚠注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">■ 釘や金属が打ち込まれた木や一度に2本以上の丸太(薪)は破砕しないでください。<ul style="list-style-type: none">・ ケガや事故の原因になるだけでなく、無理に作業を続けると、本製品を故障、破損させる恐れがあります。
 指示	<ul style="list-style-type: none">■ 丸太(薪)は木の繊維方向に沿って置いてください。■ 切り株面は出来るだけ直角に切り、プッシュプレートやウェッジに当たる面が斜めにならないようにしてください。■ 丸太(薪)が割れず、シリンダーが途中で停止し、3秒以上経過した場合は、すみやかにプッシュプレートに戻してください。<ul style="list-style-type: none">・ 無理に作業を続けると、油圧作動油の温度が上昇し、本製品を故障、破損させる恐れがあります。■ 丸太(薪)が割れない場合は、破砕面をかえたり節をすらしたりしてください。<ul style="list-style-type: none">・ 破砕面をかえたり、節をすらしたりしても割れない場合は本製品の能力を超えています。■ 薪を割る際、スロットルは必ずMAXの状態で行ってください。<ul style="list-style-type: none">・ スロットルが低速の状態では、十分に能力が発揮できないだけでなく、故障の原因になる場合があります。

10.使用方法

コントロールレバー操作方法

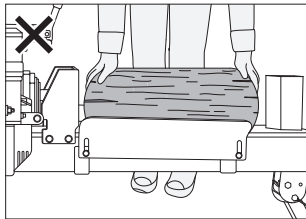
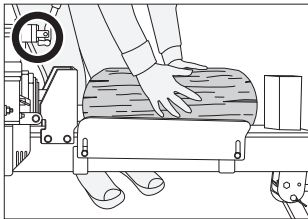


①コントロールレバーを前(ウェッジ側)に倒し続けるとプッシュプレートが前進します。
コントロールレバーから手を離し、ニュートラル位置にすると、プッシュプレートは停止します。

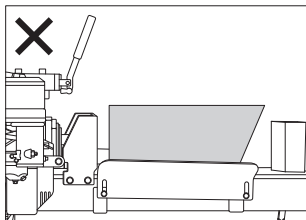
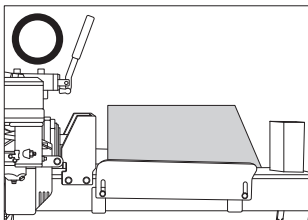
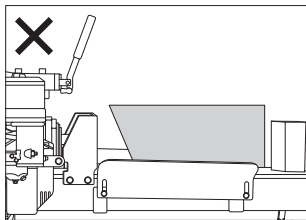
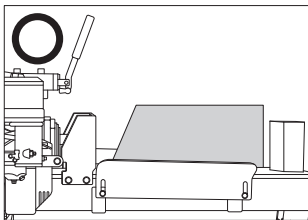


②コントロールレバーを後ろ(油圧シリンダー側)に倒し続けるとプッシュプレートが後退します。
コントロールレバーから手を離し、ニュートラル位置すると、プッシュプレートは停止します。
後退側は、レバーを最後まで倒すと、レバーがロックされ、手を離し続けてもプッシュプレートが後退を続けます。
最後まで後退すると、コントロールレバーは自動でニュートラル位置に戻ります。

丸太の持ち方

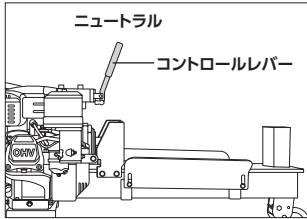


丸太の置き方



10.使用方法

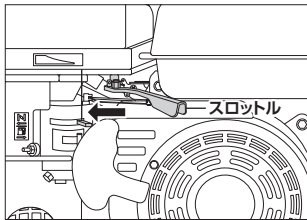
薪割り



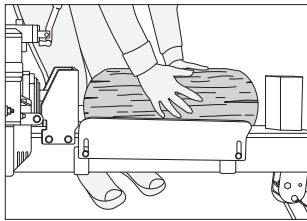
①本製品が水平か、コントロールレバーがニュートラルか確認してください。

②エンジン始動方法に従ってエンジンを始動してください。

③2～3分暖機運転を行い、スロットルをMAXにします。



④丸太を置き、コントロールレバーを操作し、薪割りをします。



⑤薪割りが終わったら、エンジン停止方法に従って、エンジンを停止してください。

11.メンテナンス

- 安全に使用していただくには、日常点検、定期点検が必要です。
- 異常、不具合、損傷がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまでお問い合わせください。
 - ・付着した木くずや木片を本製品から取り除いてください。特にビームやシリンダなどに木くずが混入するとオイル漏れや不具合の原因となります。
 - ・プッシュプレート底面とビームの接触面やシリンダなど可動部にグリスを塗布してください。
 - ・油圧シリンダのピストンロッド部の露出部分や塗装がはがれたところには、グリスを塗ってください。
 - ・ゆがみ、ネジの緩み、異音などがみられる場合は必ず修理、交換をおこなってください。
 - ・手入れ後は、雨風の当たらない場所に輪留めなどでタイヤが動かないようにして保管してください。
 - ・次回ご使用が1か月以上予定がない場合は「長期保管時の注意」の指示に従い保管してください。

11.メンテナンス

メンテナンススケジュール

点検項目			メンテナンススケジュール 下記タイミングに実施すること					
			使用ごと	初回 20時間	50時間ごと	100時間ごと	300時間ごと	2年ごと
エンジン 関係	エンジンオイル	点検	○					
		交換		○*1		○*1		
	エアクリナー	点検	○					
		清掃			○*2			
	スパークプラグ	点検、清掃				○		
		交換					○*4	
	燃料タンク	点検	○					
	ストレーナー	清掃				○		
	フューエルパイプ	交換						○
	重要ラベル	点検、清掃	○					
薪割り 部	本体	木くず、木片除去	○					
		清掃						
	コントロールレバー 操作具合	点検	○					
	可動部のグリス	点検	○					
		塗布			○			
	油圧作動油	点検	○					
		交換				○		
	各部品 ピン取付状態	点検	○					
	ボルト、ナット	点検	○					
		増し締め						
プッシュプレート ウェッジ、ビーム	点検	○						

*1 初回のみ20時間運転後、または1か月後に交換してください。

その後は100時間または1年ごとに交換してください。

*2 ホコリなどが多い場所で使用した場合は、使用ごとに点検、清掃してください。

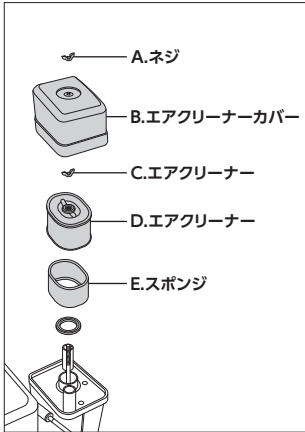
*3 紙フィルター

*4 300時間または1年ごとに交換してください。

11.メンテナンス

エアクリーナーの清掃

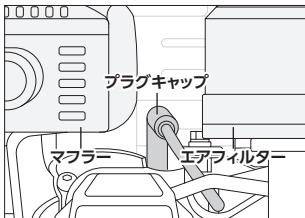
●汚れがひどいときは新しいエアクリーナーに交換してください。



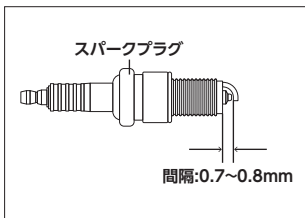
- ① **A.**を緩め、**B.**を取り外します。
- ② **C.**を緩め、**D.**を取り外します。
- ③ **D.**から**E.**を取り外し、灯油などで洗浄します。
- ④ **E.**がよく乾燥していることを確認し、逆の手順で **E.**→**D.**→**C.**→**B.**→**A.**を取り付けます。

プラグ清掃、交換

●プラグの汚れがひどい場合は新しものと交換してください。



- ① エンジンのエアフィルターとマフラーの間にプラグキャップがあります。プラグキャップを強く引くとプラグがあります。



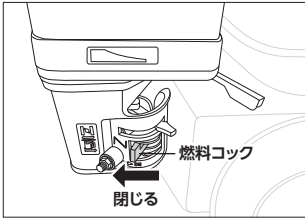
- ② スパークプラグをプラグレンチなどで外し、プラグの先端の汚れを取り除きます。
間隔は0.7~0.8mm前後になるようにしてください。

プラグ型式	F7RTC (NGK品番:BPR7ES)
プラグレンチサイズ	20.6mmまたは21mm
清掃時期	100時間ごと
交換時期	1年または300時間ごと

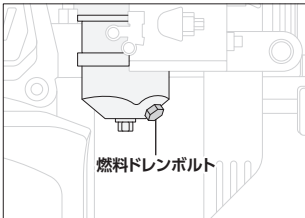
11.メンテナンス

キャブレーター内の燃料排出方法

- ガソリンは燃料タンク内キャブレーターに入れたまま長期保管すると劣化し、エンジン不調の原因となります。
- 燃料タンク内に大量にガソリンが残っている場合は事前に給油ポンプなどで抜いて量を減らしておいてください。



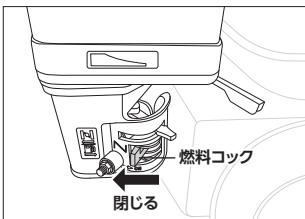
- ①燃料コックを閉じます。
(←閉じ方向)



- ②排出する燃料を受けるためのオイルドレンや容器を燃料ドレンボルト下に設置し、キャブレーターのカップ部分の斜め下にある燃料ドレンボルトを緩めるとキャブレーター内のガソリンがボルト穴から排出されます。



- ※燃料コックを開けると燃料タンクの中のガソリンも排出されます。
(→開け方向)



- ③ボルト穴から燃料タンクやキャブレーターに残っていたガソリンがすべて排出されたら燃料コックを閉じます。
(←閉じ方向)



- ④燃料ドレンボルトを締め込みます。

12.トラブルシューティング

- 解決方法を試しても症状が改善されない、また下記以外の症状が発生したときは、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。

症状	原因	対策
エンジンが始動しない 始動するが調子が悪い エンジンが停止する	エンジンスイッチがOFFになっている	エンジンスイッチONIにしてください。
	燃料がない	購入1か月以内の新鮮な燃料を入れてください。
	燃料タンク、キャブレターに古いガソリンが残っている	燃料タンク、キャブレター内の古い燃料を排出し、購入1か月以内の新鮮な燃料を入れてください。
	燃料コックOFFになっている	燃料コックをONIにしてください。
	チョークが適切でない	気温が低いとき、エンジンが冷えているときはチョークを閉じて始動してください。 気温が高いとき、エンジンが暖まっているときはチョークは開で始動してください。 エンジン始動後は開にしてください。
	エンジンオイルが少ない、入っていない、本体が水平ではない	本体を水平にし、エンジンオイルを規定量給油してください。
	スパークプラグキャップが緩い、外れている	スパークプラグキャップを確実に取り付けてください。
	スパークプラグの電極が濡れている	スパークプラグの電極を清掃、乾燥させてください。
	スパークプラグのギャップが不適切	スパークプラグのギャップを0.7~0.8mmに調整してください。
	スパークプラグの故障	スパークプラグを交換してください。
	エアクリーナーが汚れている	エアクリーナーを清掃してください。
リコイルスターターが引けない	燃料キャップの空気穴が詰まっている 燃料キャップを強く締めすぎている	燃料キャップの空気穴を清掃してください。 キャップを強く締めすぎないようにしてください。
	コントロールレバーがニュートラルでない	コントロールレバーをニュートラルにする。
	エンジンオイル過多、本体が水平でない	本体を水平にし、エンジンオイルを規定量にしてください。
プッシュプレートが重い、不安定	リコイルスターターの故障	お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
	油圧経路内のエアかみ	プッシュプレートの動きがなめらかになるまで数回伸縮を繰り返し、エア抜きをしてください。
	プッシュプレート、ビームに異物がある	プッシュプレート、ビームの異物を除去してください。

12.トラブルシューティング

- 解決方法を試しても症状が改善されない、また下記以外の症状が発生したときは、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。

症状	原因	対策
プッシュプレートが動きが遅い、不安定	ビームのグリスがない、少ない	プッシュプレートとビームに給脂してください。
	作動油が少ない	油圧作動油を規定量給油してください。
プッシュプレートが伸縮しない	コントロールバルブ故障	お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
	油圧ポンプ故障	お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
	作動油が少ない	油圧作動油を規定量給油してください。
油圧作動油が漏れている	オイルシールの摩耗	お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
	ピストンロッドの傷、曲がり	お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
	作動油配管の継手が緩んでいる	油圧配管の継手を確実に締めてください。
	継手のシールの劣化	お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
木が割れない	木が正しく設置されていない	木の繊維方向にウェッジが入るように置き直してください。
	最大破砕可能丸太長を超えている	他の手段で50cm以下に木をカットし、置き直してください。
	木の硬さが破砕力を超えている	本製品の能力を超えていますので他の手段で分割してください。
	ウェッジの切れ味が悪い	ウェッジの刃先が摩耗している場合は研いでください。 ウェッジが変形、破損がある場合はお買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
	スロットルをMAXにしていない	スロットルをMAXにしてください。
	油圧作動油が漏れている	油圧作動油が漏れてる場所を特定してください。
	油圧ポンプ、シリンダーの故障	お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
	作動油が少ない	規定量給油する
	油圧経路内のエアかみ	プッシュプレートの動きがなめらかになるまで数回伸縮を繰り返し、エア抜きをしてください。

13.保管

保管条件

- 次の保管条件に従い、正しく保管してください。
 - ・ 付着した泥、木くず、木片を除去する
 - ・ 各可動部、ピストンロッド露出部、塗料がはがれたところにグリスを塗布する
 - ・ 水、燃料、オイル、油圧作動油が付着している場合は拭き取る
 - ・ 各部品、ボルト、ナット、ピンが正常か確認する
 - ・ 損傷、破損がある場合は、保管しない
 - ・ タイヤに輪止めをする

保管場所

- 次の場所には、保管しないでください。
 - ・ 高温、多湿、結露する場所
 - ・ 塵やホコリがあり、清掃されていない場所
 - ・ 大型機械の隣、車道のそばなど、振動が発生する場所やその付近
 - ・ 紙や木材など、燃えやすい物がある場所
 - ・ 風雨が当たる場所
 - ・ 施錠のできない場所

故障について

- 故障と思われる場合は、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。

長期保管時の注意事項

- 1か月以上使用しない場合は長期保管に該当します。

なるべく長期保管はせず、1か月に1度を目安に、エンジン始動、各種点検を実施してください。

やむをえず長期保管する場合は、前項の保管方法に加え、下記項目に従って保管してください。

前項および下記項目に従わないで保管すると、次回使用時に故障し使用できなくなることが考えられます。

 - ・ 燃料をすべて抜く
 - ・ スパークプラグを取り外し、エンジンオイルを数滴たらず※オイルの入れすぎに注意
 - ・ リコイルスターターを数回引き、スパークプラグをとりつける
 - ・ リコイルスターターを、重くなる位置まで軽く引く

冬季の注意事項

- 冬季は、使用後必ず付着した泥、水分、木くずや木片などの異物を除去してください。
- 本製品が凍結していることが考えられる場合は、無理に動かそうとせず、水、ぬるま湯などで溶かしてから使用してください。

14.廃棄について

- 本製品を廃棄する場合は、お住まいの各自治体のゴミ廃棄方法に従って、廃棄してください。
- 指定された廃棄方法以外で、本製品を廃棄しないでください。

15.個人情報の取り扱い

- ご提示いただいたご住所、お名前などの個人情報は、相談のためだけに利用させていただきます。
- 個人情報は、適切に管理し、正当な理由がある場合を除き第三者に開示、提供することはありません。

16.製品保証規定

●保証期間内(購入後180日)に、正常な使用状態で故障が発生した場合に、当社の責任において無償で該当部品の供給を約束するものです。保証は、購入レシートまたは納品書、および製品保証書をお買い求めの販売店へ提示してください。

- (1) 製品の保証期間は、購入後180日です。
- (2) 正常な使用状態にて故障した場合は、当社の責任において無償で該当部品を供給します。
- (3) 本保証は当該製品単体の保証を意味します。製品の故障および損傷により発生する損害は、保証対象には含まれません。
- (4) 本保証は、日本国内においてのみ有効です。海外で発生した故障、および損傷に関しては、保証対象には含まれません。
- (5) 保証の可否は当社が判定します。
- (6) 購入日の確認ができない場合は、保証対象には含まれません。
- (7) 製品保証は当社および正規販売店で販売した商品のみ有効です。
- (8) 二次的に発生する損失の補償、および次に該当する場合は保証対象には含まれません。

- ・使用上の誤り、保守点検、保管などの義務を怠ったために発生した故障および損傷
- ・製品の作動機構に悪影響をおよぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障および損傷
- ・消耗品が損傷し、取り替えを要する場合
- ・地震、火災、風害その他天災地変など、外部に要因がある故障および損傷
- ・当社および正規販売店発行の購入レシートまたは納品書、および製品保証書の提示がない場合
- ・誤った修理による故障および損傷
- ・購入後の輸送や移動時の落下や衝撃による故障および損傷

17.お問い合わせ先

カスタマーサービス

故障と思われるときや商品についての問い合わせは、カスタマーサービスまでご連絡ください。

048-501-7873

[受付時間] 平日9:00~18:00

[ホームページ] <https://www.astro-p.co.jp>

販売元

株式会社 ワールドツール

〒369-1106 埼玉県深谷市白草台2909-50

※住所、電話番号、受付時間が、予告なく変更になることがありますので、ご了承ください。

※上記電話番号が利用できない場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

(2023年12月)